人らしく生きよう－国労冬物語（2000）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
時間 100分
初公開日 2001/11/17
公開情報 ビデオプレス

【キャッチコピー】
あなたはもっとやさしくて　あなたはもっと強い

線路を奪われた鉄道員と家族の物語

【解説】
　1987年に行われた国鉄分割民営化が生み出した不当な解雇と差別。これは、職場復帰を求めて戦う元国鉄職員たちの姿を14年に渡って追ったドキュメンタリーで、2000年度第6回平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞に輝いている。2000年に完成した作品に、さらに追加取材と再編集を加えたのがこの100分の劇場公開版である。
　1987年。分割民営化に踏み切った国鉄では多くの人々が解雇の憂き目にあった。中でも分割民営化に反対する国労組合員たちには不当労働行為（組合差別）が行われていた。国労闘争団の最年長者・佐久間忠夫さん（68歳）は、14歳の時から国鉄で働き、25年ものあいだ鶴見線を運転してきたが、突然“人材活用センター”に送られた。保線職場で長年働いていた山田則雄さん（51歳）は職場を追われ、北海道在住の大谷英貴さん（43歳）はＪＲ不採用となり解雇された。全国で結成された闘争団は職場復帰を訴え、国労本部との争議を行うのだが……。

【クレジット】

監督	松原明
	佐々木有美
撮影	松原明
	佐々木有美
編集	松原明
	佐々木有美
	エム・ケー企画
音楽	田中哲朗
	村上エイジ
協力	国労教宣部国労闘争団全国連絡会議
題字	志水とおる
ナレーション	佐々木有美
詩朗読	池田武志

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.